



# アイロベックス通信

平成20年9月 Vol.36

住所 新宿区新宿5-17-17 渡菱ビル3F  
電話番号 03-3232-2525  
URL <http://www.ilovex.co.jp/>  
発行者 株式会社アイロベックス

## 代表の一言

## アーキテクトを求めて

ITプロフェッショナル部は、世間でいうところのITアーキテクトを育てたいと思って作った部署です。アプリケーションエンジニアでもなく、プログラマでもなく、プロジェクトマネージャでもない。システムを作るために必要な技術のすべてを知っていて、未来を見据えて最適なものを選択提案できる人。それがアーキテクトなのです。たぶん普通のプログラマやSEには「ネットワーク系」の力が一番足りないと思うのです。インフラを含めてシステムを創る力を蓄えてほしいと思っています。

アイロベックスは小さなソフト会社ですが、この部があるが為に、自分たちでWindows/Linuxを問わずサーバーを作り、運営していくことが可能なのです。



自分たちで運営  
代表取締役  
杉山淳子

## ITプロフェッショナル部 部長より



ITプロフェッショナル部の部員はWindows/Linuxに関わらずネットワークやセキュリティ、VB.NetやC#.Net、Javaなどの開発言語、各種 Databaseについてなど、ITに必要な技術に関して、広いだけでなく特化した深い知識の習得を心がけています。その技術力のため社内でもご意見番とみなされており、少々困難なプロジェクトも好き好んで飛び込んで救っていく優秀な人柱を送り込んでいると自負しています。技術追求のためにも、日頃から過酷な勤務をもとめず、また部署内外に向けた勉強会も盛んです。また資格取得にも積極的で、その結果アイロベックスがMicrosoftゴールドパートナーになるために大きく貢献しました。

今後の活動としては、社内の基幹/開発のテスト環境、とにかくサーバーをたてる、立てる、建てまくる。Windows/Linux 大小あわせて目標3桁。そしてその大半を仮想化して地球温暖化防止、チームマイナス6%にも積極的に貢献していきたいと考えています。めまぐるしく変化し続けるIT業界において、ITプロフェッショナル部は、常に新しいテクノロジーを追求し、また既存技術の隙間をもコテコテ埋めていく、ハイテクなマニア集団であり続けます。



ITプロフェッショナル部  
部長  
市川 孝文

## 今月のスター

## 過去の資産を活かして

石塚：ITプロフェッショナル部で竹藤さんが行っていることはなんですか？  
竹藤：ソフトウェアグループとして活動しています。当社がマイクロソフトのゴールドパートナーであるため、ライセンス管理や、ソフトウェアの管理などの活動を行っています。  
石塚：おお。それ以外にもありますか？  
竹藤：社内のプログラムソースの水準を守り、改善していくための活動として、査読会を行ったり、フレームワークの整備を行っています。  
石塚：竹藤さんは現在の社内フレームワークの基盤となるものを作成されたんですね？  
竹藤：作る上で最も意識したことは何ですか？  
竹藤：最も心がけたのは、「如何に既存資産を活かすか」ということです。  
石塚：竹藤さんが一から作った訳ではないんですね。  
竹藤：よく誤解されるのですが、そうではなく、それぞれの個別プロジェクトで散らばっていた資産をまとめなおして統合し、その上で私なりの考えを取り入れてみました。

石塚：プロとして当たり前なのは、当たり前に行おうということですね。竹藤さんは本をよく読んでいることで、社内では有名ですが、月に何冊程読んでいるのですか？  
竹藤：定期的に、技術系の雑誌は3冊購読しています。その他の小説などを含むと1週間に1冊は読んでいますね。私のおすすめ本はITBooksに掲載していますので、ぜひご覧になってください。  
石塚：はい！竹藤さんおススメ本の紹介サイトITBooksは以下からアクセス可能です。 <http://www.ilovex.co.jp/itbooks/> 最後にご自分の強みは何だと思えますか？  
竹藤：技術に通じるだけでなく、論理的に解説できることでしょうか。  
石塚：論理的にですか。なかなか説明するのは難しそうですね。  
竹藤：わかっていれば、人に説明できますよ。極力後輩にも伝えて、知識を共有していこうと思っています。  
石塚：なるほど。共有することが大事なんですね。竹藤さんありがとうございました！

石塚：おお。そうだったんですね。  
竹藤：はい。統一性をもたせるために名前を変更したり、配置を変えたりしたので、一見するとまったく新しいものであるかのような印象を与えてしまったかもしれません。

石塚：でも実際は、過去のノウハウを活かした作りになっているんですね。  
竹藤：はい。今までのものを活かしつつ、今後もさらに発展させていきます！  
石塚：頼もしいですね！

ITプロフェッショナル部の一員として心がけていることは何ですか？

竹藤：プロ意識を持つということです。

石塚：おお。

竹藤：ITプロフェッショナル部という名前だからではなく、仕事上としての意識を常に持つようにしています。それがあってこそ、「プロとして知っていて当然」とか、「プロとしてバグを出す」と恥づかしいなど、行動に結びついていくのではないのでしょうか。



ITプロフェッショナル部  
竹藤 浩樹



## ソフトウェアグループ

### フレームワーク作り

ITプロフェッショナル部ソフトウェア開発グループは、主にプログラム開発に関わる活動を行っており、現在は、プログラム言語チームと、データベースチームに分かれて活動を行っています。

プログラム言語チームが現在行っている活動は、以下の2つです。

1つ目は、Javaのフレームワークの構築です。弊社の業務系Webアプリの構築に特化した仕組みを持つフレームワークの構築を目指し、作業を進めてきました。既に、フレームワークは完成しており、2つの案件にて実用しています。また、オープンソースプロダクトであるSeasar2のS2Containerをフレームワークのコアとして利用しており、Javaの開発効率を大幅に向上させるHOT deploy機能を活用しています。

今後は、フレームワークを使用するにあたってのマニュアル等の整備や、実案件を通して出てきた問題点の改善を進めていきます。将来的には外部にオープンソースとして公開できればと考えています。

2つ目は、社内教育です。1、2年生を対象に週1回プログラム開発の勉強会を行っています。これまで、自分達が培ってきたプログラム開発のツボを下の世代に引き継いでいます。この活動は、活動内容が類似している、ソフトウェア開発部の開発標準化チームと合同で行っています。

ちなみに、開発標準化チームとの違いは、開発標準化チームが弊社の主力である.NET、SQLServerに関わる活動を行っているのに対して、ソフトウェア開発班では、Java、PHP、Oracle、MySQLといった社内では開発機会が少ない技術に焦点を当てていることや、最新技術の調査研究を行っていることです。

データベースチームが現在行っている活動は、以下の2つです。

1つ目は、データベースサーバーの仮想化です。社内でも数世代にわたるOracleのデータベースが乱立しており、それらを一元管理すべく、データベースサーバーを仮想化する作業を進めています。

2つ目は、Oracleの開発Tipsの作成です。弊社では、開発機会が少ないOracleの開発作業を、いつ開発案件が来ても、誰でも効率よく行えるよう、Oracleの基本ツールや、便利なサードパーティのツールの使い方をドキュメント化する作業を進めています。また、Oracleのセミナーに参加するなどして最新技術のフィードバックにも力を入れています。

ソフトウェア開発班の今後の活動としては、Ruby On Railsの登場で勢いに乗っているRubyの調査を行う予定で、準備を進めています。我々、ITDソフトウェア開発グループは、アイロベックスの技術の死角を無くすべく、日々、努力を続けていきます。



ITプロフェッショナル部  
加藤 泰伸

### 編集後記

アイロベックス特集！今回はITプロフェッショナル部特集！です。アイロベックスのメンバーが、良い環境の中で作業が出来るのも、ITプロフェッショナル部のおかげです。いつもどこかで支えてくれる、緑の下の力持的なのとも心強い部です！



編集：エリザベート石塚

## ハードウェアグループ

### 社内の環境を保つ

ハードウェアグループという名前ですが、実際にはハードウェアを含むネットワーク、サーバーの管理等を行っています。普段、社員の皆さんが使用しているファイルサーバや基幹系のサーバーの管理の他、皆さんのパソコンの不具合の対応も行います。

その他には、弊社ではホスティングサービスを行っていますので、データセンターに出向いて、サーバーの設置や障害対応を行ったりします。

休日だろうが、夜中だろうが障害が起きると、メンバー全員の携帯に警告のメールが届きます。そのため、常に緊張感をもって取り組んでいます。

今後の目標としては、3つあります。  
1. 社員が仕事をしやすい環境を保つこと。  
2. ハードウェアグループだけでなく、全員が理解でき、活動できるような仕組み作りをすること。  
3. 社内教育を行い、会社としての技術力を高めていくこと。  
会社全体の技術力向上を意識して活動していきます。



ITプロフェッショナル部  
西櫃 正俊



## アイロベックス 今月の出来事

### フォルダーアクセス権限確認ツール「AD-Folder」製品版出荷開始！



8月25日、「AD-Folder」製品版の出荷を開始しました。Windowsフォルダーのアクセス権限が、一目で確認できます。情報システム部門の方や、ネットワーク管理者の方なら、フォルダーアクセス権限を調べるために多くの時間を費やした経験がある人は、多くいるでしょう。NTFSアクセス権限と共有アクセス権限のマージ、ツリー形式での表示、フォルダ権限リストのCSVダウンロードなど、多彩な機能で、フォルダーアクセス権限の管理に費やす時間が激減します。製品の詳細・ダウンロードは、下記URLから <http://www.ilovex.co.jp/products/ad-folder/>



AD-Folder 権限ツリーのイメージ

### 無料お試し版公開「XziNet Manage (エグジネット・案件管理)」

XziNet Manage (エグジネット・案件管理)は、営業の流れに合わせて、商談発生時～成立～納品～入金確認といった案件に関する工程を一元管理するシステムです。まずは、無料お試し版をご使用ください。お申し込みは下記URLから <http://www.xzinet.com/manage/function/>



### 「日経SYSTEMS」に弊社のマインドマップ活用術が紹介されました！

日経SYSTEMS (8月26日発売第185号)で、アイロベックスのマインドマップ活用術が紹介されました。弊社、前田と見並がインタビューを受け、障害対策のアクションをマインドマップで管理している様子を紹介しています。記事の詳細は「アイロベックス通信号外」をご覧ください。

